

要望項目

東京電力福島第一原子力発電所の事故により、福島県民、特に発電所周辺の住民は深刻かつ甚大な被害を受け、今なお、多くの県民が避難を余儀なくされ、見えない放射線や廃炉作業に不安を抱き、また、風評に苦しんでいる。

福島の復興・再生、そして住民の帰還が着実に進む中、福島県の将来に向け更なる負担を強いることのないよう、次のとおり要望する。

- 使用済燃料や燃料デブリを含む放射性廃棄物の処理・処分方法については、原子力政策を推進してきた国の責任において、確実に議論を進めること。
- 取り出した使用済燃料や燃料デブリを含む放射性廃棄物については、廃止措置の一環として、県外において適切に処分すること。